

新潟県
燕市
つばめし
いがたけん

取材・文/後藤里夏
撮影/朝妻一洋

使つてほしい! 品質に絶対の自信あり。 メイドイン燕の自信の逸品



おもてなしカトラリー誕生

新潟県燕市は金属加工のまちとして全国区の知名度を誇る。近年、燕市の多くの企業が自社のプロダクトを直接消費者へ届けようとする方向へ大きく舵を切った。価格競争に左右されず、自分たちの技術の高さやデザイン力を生み出し、ますます「ものづくりのまち、燕」の評価を高めている。

燕市を代表するカトラリー製造には百年を超える長い歴史があり、現在でも国内生産の9割以上のシェアを持つ。2018年、燕を代表するカトラリーを開発するため公募が開始された。そして2019年、応募があった6社、10パタンから見事に選ばれたのが「おもてなしカトラリー」だ。

デザインテーマは「ニッポン」。表

面にトキの翼をモチーフにした優美なラインが刻まれ、裏面には桜の花が大胆に舞う。着物の奥襟や襦袢のように、表からは見えないおしゃれを楽しむ粋な日本らしさが垣間見える美しく斬新なデザインだ。

「おもてなしカトラリー」はスプーンとフォークの幅は日本人の口に合わせて世界標準サイズより少し細め、しかし誰にでも持ちやすいよう、持ち手は長めに工夫されている。その姿は首の長いトキのようにスマートな印象だ。

使い勝手抜群な鍋セット

世界中の人々に使ってもらうことを探定して生み出された「おもてなしカトラリー」は海外からのゲストの心に残るに違いない。手に入るのは燕市のあるさと納税だけという超希少品。ぜひ使ってみたい。

ハンドルが着脱可能な「創燕 ハンドル着脱式鍋2点セット」は狭いキッチンに、单身世帯に、あるいは少量の調理に使い勝手が良く評判だ。製造しているのはキッチャンツールを手掛け50年以上という丸山技研。同社の丸山大輔さんが話してくれた。「創燕シリーズは2013年に発売した当社

の自社ブランドです。私たちの持つ技術を集め、いいものを作ろうという意気込みとこだわりが詰まった製品です。私たちが得意とするのはプレスですが、製造工程では他にも必要となる技術があります。例えば金属を伸ばすスピニングや溶接など、自社で持たない技術で、より良い仕上がりを目指して、オール燕で作っています」。

ハンドルの装着はワンタッチだが外れにくい仕組み

一枚の金属板がプレスされ、あっという間に鍋になる



丸山技研さん。自信の鍋です。ぜひ試してください



お問い合わせ
〒959-0295
燕市吉田西太田1934
総務課
☎ 0256-77-8312(直通)



12万円以上の寄附

フォールディングウッドコット
使用時寸法: W2000 × D830 × H390mm、
収納時寸法: W960 × D230 × H150mm、
重量: 約 10kg (耐荷重: 100kg)



↑ 全ての金具は丈夫なステンレス製。三代、100 年にわたり、長く使って欲しいという願いを込めた



↑ フレームは天然木、座面はキャンバス地の温かみのあるコット。コンパクトに収納可能なのが嬉しい

→ 折りたたんで収納可能。組み立て簡単だ



1万5000円以上の寄附

**アルフレイ
『ミニ焚火台』(ステンレス)
焼き網付**

本体: ステンレス、
網: 鉄 / 重量: 720g
組立寸法: W125 × D125 × H165 mm

付属のポーチに収納しても持ち運びも簡単

※「ノミネートされた自治体は、読者や識者からのクチコミをもとに、編集部が厳選したオススメの返礼品です。」

燕市の逸品があの人気ドラマに登場!

2018年、人気ドラマ「下町ロケット」(TBS版)の舞台となり話題となった燕市だが、2019年もドラマ「グランメゾン東京」にカトラリーが登場するなど、引き続き注目を集めている。それに伴い返礼品も人気を集め品数は1300品を超えた。

「採用にあたり、全ての品物が選考会の審査を受け、品質の保証をしています。また、それが寄附者様からの信頼につながっており、一度寄附した方が、贈り物にしたい、シリーズで揃えたいとリピーターになってくれることも多いです。返礼品のクオリティはさらなるながらこの技術を後世に残してほしいという声も多くいただいている」と話す総務課の伊藤崇人さん。

寄せられた寄附金は、ものづくりに携わる後継者育成やチャレンジする農業者に対し事業費を補助するチャレンジファーマー支援事業をはじめ、福祉、教育の充実など多方面で活用されている。

▼農業従事者のチャレンジを応援する事業に寄附金が役立っている



▲燕市総務課 伊藤崇人さん。「燕のいいものを知りたいたら、ぜひ一度燕市に来てください。見所もたくさんあります」

2018年、人気ドラマ「下町ロケット」(TBS版)の舞台となり話題となった燕市だが、2019年もドラマ「グランメゾン東京」にカトラリーが登場するなど、引き続き注目を集めている。それに伴い返礼品も人気を集め品数は1300品を超えた。

（つづき）

次にご紹介するコット(簡易ベッド)はおしゃれで温かみのあるデザインが特徴だ。そして簡単に折りたたみが可能で収納時はコンパクトに変身する。フレームの素材は丈夫な天然木で環境に優しいオイルステイン仕上げ。座面は天然素材の丈夫な帆布を使用し、中央部は生地が二重になっており、へたりにくい。帆布の張りを調整する機能付きだ。小澤工業のオリジナルブランド、ヘクタデザインが製作している。

デザインのこだわりに加え、長く使用してほしいという願いを形にした。快適なひと時を約束できる逸品だ。

おしゃれでコンパクト 寝心地抜群のコット

アウトドアで焚火、固形燃料で家キャンを楽しむ

このコンパクトサイズの「ミニ焚火台」は気軽に一人で焚き火が楽しめる。台は軽く一人で焚き火が楽しめる。重さはわずか720g。小さく平らに折り畳めば、付属のポシェットに収納できて持ち歩きが可能だ。

ミニサイズだが、機能は本格派。本体にはステンレスを使用し、強い火力の焚き火はもちろん、アウトドアクッキングにも活躍する。EARL GRAYは新潟プレス工業のアウトドアブランド。得意とする精密板金加工の技術を惜しみなく注ぎ込んだ頼もしいギアでアウトドアライフを満喫したい。

常識を覆す!押しても、引いても切れる波刃ナイフ
このナイフを使った人は滑らかな切り心地に驚くはずだ。

波刃のナイフは押すか引くか一方通行でしか切断できないものが一般的だ。しかし燕市の刃物メーカー、富田刃物(とみたはのもの)が「押して切る」ことも「引いて切る」こともできる波刃ナイフを開発した。

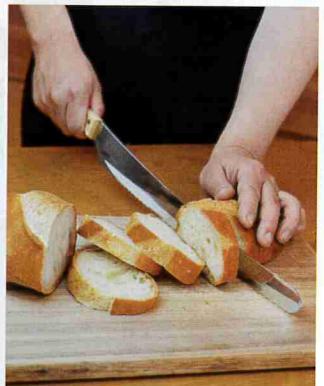
常識を覆す両方向から切れる「新型波刃」は創業以来、50余年、波刃加工の技術を磨いてきた同社だからこそ可能な技術だ。ポイントは刃の形状にある。波刃の形状のわずかな違いで切断力に大きな違いが出ることから、0・2mm単位で異なる刃を100種類以上試作、実験を繰り返し、ベストな形状にたどり着いたという。さらにその刃の仕上げも重要で機械加工では実現不可能なことだわっている。

高度な技術と職人の技、そして熟意が可能にしたこの新型波刃のナイフ、難しいことは抜きにして、とにかく切れ味がいい。硬いものも柔らかいもの、薄いもの、厚いもの、何を切るのか使い手が意識することなく、ストレスを感じずに作業ができるのは快適のひと言に尽きる。



↑ 「押して切る」ことも「引いて切る」こともできる。波刃の常識を覆す画期的なナイフ

↓ 滑らかな使い心地はストレスフリーな使い心地



↑ 秘密は刃の形状にある。100種類以上の試作を繰り返し商品化

世界のデザイン賞を続々獲得、美しすぎるアルミメジャー

「ミリセカンド アルミニウムメジャー」はジャーマンデザインアワードをはじめ、世界の名だたるデザインアワードを受賞する名品だ。長年、金属加工を得意してきたタケダが製造している。雅之さんに話を聞いた。

「得意としてきた金属加工の技術を直接世の中に届けたい。消費者に手にとって使ってもらえるものを作りたい。その思いから、2008年にタケダデザインプロジェクトがスタートしました。『何を作るか』ではなく『技術の高

さを一番反映できる物は何か』が私たちの製品開発に対する姿勢です。その中から生まれ出されたプロダクトの一つがアルミニウムメジャーです。反響は大しく、東京、銀座の伊東屋や代官山のT-SITEなどのセレクトショップで好評をいただいている。

直径約5cm、厚さわずか13mmの滑らかなアルミニウム製メジャーは持つ時に指になじむように真ん中がすり鉢状に少しだけくぼんでいる。正確無比な削りの技術があつてこそ可能な美しいデザインはアルミ製にもかかわらず、温かみさえ感じられる。燕の技術が生み出した新しい名品はこだわり派の人々の心をガツチリ掴んでいる。



↑ メジャー部はJIS一級の高品質なものを採用



↑ メジャー部はJIS一級の高品質なものを採用

1万5000円以上の寄附
**Millisecond
アルミメタルメジャー(シルバー)(ブラック)**

寸法: φ5cm × 1.3cm、メジャーの長さ: 200cm(幅) 0.6cm、重量: 約40g

↓ ミリ単位以下の精密で高度な切削技術が要求される



↑ タケダデザインプロジェクト事業部 高地雅之さん(右)と切削を担当する近藤涉さん



●電話で申し込む際は「ふるさと納税ニッポン!」を見たと言ってください。
●設定数になりたい、品切れになる可能性があります。
●最低申附金額が変更になる場合があります。

●申し込んだ返礼品は、到着までに数ヵ月かかる場合があります。
●読者プレゼントではありません。通常の寄附申込が必要です。